

2020年10月9日

各 位

会社名 株式会社東京個別指導学院
 代表者の 代表取締役社長 齋藤 勝己
 役職・氏名
 (コード番号 4745・東証第一部)
 問合せ先責任者
 取締役経営戦略室室長 堤 威晴
 TEL 03-6911-3216

2021年2月期業績予想、ならびに中長期ビジョン及び 新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2020年4月9日に公表いたしました「2020年2月期決算短信(連結)」において、未定としておりました2021年2月期の連結業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、中長期ビジョン「VISION2030」、及び2022年2月期を初年度とする今後3年間の新中期経営計画「ホスピタリティ経営 2023」を決議いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1)2021年2月期連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	18,700	260	290	3	0円07銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
ご参考:前期実績 (2020年2月期)	21,261	2,889	2,892	1,897	34円94銭

(2)公表の理由

2021年2月期連結業績予想について、新型コロナウイルス感染拡大による影響範囲が不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定いたしましたので、連結業績予想を公表いたします。

当社は、緊急事態宣言の発出などを受け、すべての教室において臨時の休校措置を取っておりましたが、緊急事態宣言の解除後は順次授業を再開し、6月1日には全教室で授業を再開いたしました。授業の再開にあたっては、感染防止対策を徹底しております。また、6月からご自宅にいながら個別指導授業を受講していただけるオンライン個別指導サービスを開始しております。

直近の状況としては、問合せ数は、感染者数増加の報道などを受け一時的に減少する局面はあったものの回復基調にあります。そのため、個別指導塾の、8月末時点の在籍生徒数は32,907名(昨年同月比90.1%)となり、5月末時点より4.0ポイント改善しております。また、夏期講習会へのお申し込みが計画を上回り好調に推移いたしました。このような状況を勘案し、連結業績予想の算定を行いました。

本連結業績予想は、今後も対面もしくはオンラインでの授業により教育サービスを継続的に提供できること、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年中まで続くことを想定しています。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び収束の状況により、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今回の予想について修正が必要となる場合は、速やかに開示いたします。

2. 中長期ビジョン

(1) 概要

社会が急速に変化し多様化が進む中で、当社が社会にとってなくてはならない存在であり続けるために、どのような価値を提供することが必要かを検討し、10年後の2030年に当社が目指すべき姿を描いた中長期ビジョンが「VISION2030」です。

「VISION2030」において、「共創する未来 ～ホスピタリティ経営で教育を『共育』へ～」をビジョナリーメッセージとし、当社の強みである講師人財プラットフォームを磨き上げることにより、教える人と教わる人が共に育つ、教育を「共育」へとアップデートしていくことを目指してまいります。

(2) VISION2030 ターゲット(個別指導事業)

◆2030年

「講師数:2万名以上」

「在籍生徒数:6万名以上」

「個別指導事業売上高:400億円以上」

直近の当社実績は、講師数約1万名、在籍生徒数約3万名、売上高約200億円となっておりますが、創業以来35年かけて積み重ねてきたKPI数値を今後10年間で2倍にすることを目標とします。

3. 新中期経営計画

(1) 概要

「VISION2030」を実現するためのファーストステップとして、2022年2月期～2024年2月期の3か年の新中期経営計画「ホスピタリティ経営2023」を策定いたしました。講師人財プラットフォームという強みを磨き・活かすことで高い顧客価値を提供し、持続的な企業価値の向上を図ります。成長戦略として、「講師人財プラットフォームの進化」及び「ICT活用による教育サービスの進化」を推進してまいります。ICT投資規模は5か年累計で約30億円を見込むなど、中長期的な成長を見据えICT基盤を刷新してまいります。

(2) 数値計画

(百万円)		2021.2期 (FY20) 予想	2022.2期 (FY21) 計画	2023.2期 (FY22) 計画	2024.2期 (FY23) 計画
売上高	実数	18,700	22,132	23,858	25,719
	前年差異	▲2,561	3,432	1,726	1,861
	対前年率	88.0%	118.4%	107.8%	107.8%
営業利益	実数	260	2,204	2,632	3,105
	前年差異	▲2,629	1,944	428	473
	対前年率	9.0%	847.7%	119.4%	118.0%
営業利益率		1.4%	10.0%	11.0%	12.1%

なお、中長期ビジョン及び新中期経営計画の詳細につきましては、10月12日(月)に開催を予

定しております「2021年2月期第2四半期決算説明会 兼 経営方針説明会」(オンライン配信)においてご説明し、説明会資料や配信動画につきましては当社 IR サイト (<https://www.tkg-jp.com/ir/>) に掲載の予定です。

(注) 上記予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上